

# さんけん ネットワークニュース

2011 No.41

発行人：三健ネット会会長 門馬義芳 発行日：平成 23 年 1 月 1 日 三健ネット会事務局 東京都狛江市東野川 1-34-14 日本ライフ(株)内

TEL03-3488-8700 FAX03-3488-9921 <http://www.nihonlife.co.jp/> [mail@nihonlife.co.jp](mailto:mail@nihonlife.co.jp)

## 日本の国際化について考える

三健ネット会事務局 門馬義幸

あけましておめでとうございませす

会員の皆様のご健勝を心より申し上げます

年頭にあたり、日本の国際化について考えてみたいと思います。日本は単一民族なので外国人受け入れには消極的であるといわれています。果たしてそうでしょうか。北海道を支配していたアイヌ民族、琉球王朝を築いた沖縄についてはここでは触れませんが、横浜中華街、神戸南京町、長崎新地中華街などの中華街は長い歴史があり、最近では新大久保コリアンタウンが有名です。多くのインド人も日本各地でカレー店を開いています。国際結婚も増えています。アジア人だけではありません。

ニューズでもよく取り上げられていますが、神楽坂界隈ではフランス人をよく見かけます。パリと雰囲気似ているからだそうです。在住のフランス人が日本人と付き合いがあるのかはわかりませんが、確かに地域に溶け込んでいて違和感がありません。周りの日本人も外国人だからといって特別な目でみることもほとんどありません。パリと似ているからだけではなく、それだけ神楽坂には魅力があり、住みやすい街だからでしょう。日本は物価が高いと言われるていますが、外食にかかる費用は欧米よりも安いと思いま

す。まず、チップがいりません。初めて来日した外国人がとても喜びます。日本でも店によってはサービス料が加算されることもあります。チップと言う面倒な形態はとりません。ファーストフードの店でも立ち食いそばや牛丼は 200 円台から食べられます。欧米人から見れば信じられないほどの安い値段です。日本茶が無料で出てくるというのも海外ではまず考えられませんが、最近では立ち食いそば屋、牛丼屋、立ち飲み屋、回転寿司でも外国人を見かけるようになりました。新宿の椅子席もある立ち食いソバ屋では親子連れの外国人も見かけたことがあります。現在はネット社会ですから、あつという間に安くて安心して食べられる店の情報が伝わるのでしよう。接客のマナー、包装の技術などきめ細かいサービスにも日本で暮らす外国人が感激します。他の国に比べれば、治安もいいこともあげられるでしょう。年々犯罪率が高まっ

ているのは確かですが、日本はまだまだ安全な国です。列車、地下鉄、バスなど公共交通機関もきれいで、安心して乗ることができます。

この他にもいくらでも良い点をあげることができます。水がおいしい。名水 100 選だけではなく、日本国中でおいしい水が湧き出ています。水道水もおいしく飲めるところが増えてきました。地方だけではなく、最近では東京の水道水もおいしくなりました。水道の水が飲める国も海外ではそれ程多くありません。また、今では当たり前のように普及しているウオシュレットですが、外国ではほとんど見ることができません。このウオシュレットに感激し、便座を買い求めた人もいる程です。



国際化といえば、必ずとい  
い程英語の話が出てきます。  
最近ではユニクロや楽天が英  
語を社内の公用語にすると発  
表し、賛否両論が起きました。  
英語は必修科目なのに、多く  
の日本人は英語が話せないこ  
とが問題にされています。そ  
の結果、中学校の教科書は会  
話が主体になりました。とこ  
ろが、英文の長文がなくなり、  
文法も教えなくなつたことで、  
編集の意図とは逆に英語力そ  
のものが落ちてしまいました。  
会話どころか単語の発音もま  
まならず、簡単な英文も読め  
なくなると言うマイナス面の  
方が目立ってしまいました。  
では何故英語を話せないの  
でしょう。理由は簡単です。国  
内では話す必要がないからで  
す。話す必要があれば、たと  
えブローカーでも英語を話し  
ます。浅草の仲見世など外国  
からの観光客が多いところで  
は、電卓片手に英語で外国の  
方に話しかけているお店の方  
が何と多いことでしょう。文  
法的には間違っているかもしれ

れませんが、十分通じていま  
す。新宿の思い出横丁の飲み  
屋さんでは外国人相手に堂々  
と日本語で対応している店も  
見かけます。外国の方は母国  
語で話すのに、日本語で答え  
ていますが、何となく通じて  
いるようです。国際化は言葉  
よりもまずは触れあいから始  
まる見本ともいえるでしょう。  
駅の窓口でも英語を話せる担  
当者が増えています。街でみ  
かける案内表記も英語だけで  
はなく、中国語、韓国語も書  
かれています。秋葉原の量販  
店など外国の方が訪れるとこ  
ろではそれぞれの国の人を採  
用し、対応しています。英語  
圏に行っても書かれているの  
は英語だけです。こういう所  
で日本人特有のきめ細かさ  
が生きているのだと思います。  
このように考えていくと都市  
圏、観光地では日本の国際化  
はもうすでに進んでいると言  
えるのではないのでしょうか。  
確かに現在の政治を見てい  
ると、あらゆる面ではがゆい  
面ばかり目立ち、日本人とし

て自信を失いそうですが、政  
治以外の面で考えれば、私達  
はもつと自信を持つていいの  
ではないでしょうか。私達は  
謙虚さを美德と感じています  
が、もつと自信を持ち、主張  
すべきことは主張すれば、た  
とえ英語をしゃべれなくても  
国際人として通用するよう  
に思っています。

## 日本茶輸出貿易の 先駆者の大浦慶



くなつていきました。その時  
に大浦慶は日本茶の海外輸出  
を思いつき、ビジネスパー  
ナーの英国商人ウィリアム・  
オルトと組んで財をなしたの  
です。日本茶は北米、ヨー  
ロッパ、ロシアなどに輸出さ  
れました。あのヴァン・ゴッ  
ホがキャンバスとして使つて  
いたのが茶箱の蓋だったとい  
う事実もあります。明治時代、  
日本茶は生糸と共に外貨を獲  
得するための主要輸出品目に  
なり、19世紀後半にかけて日  
本茶の輸出は拡大の一途を辿  
っていました。ところが、そ  
れ以降は紅茶の消費がイギリ  
スだけではなく、アメリカで  
も徐々に増えていき、日本茶  
のシェアは奪われていきまし  
た。日本国内でのお茶の需要  
が高まっていったこともあり、  
輸出量は急激に落ちていきま  
した。

になりました。日本の米、果  
物が安全でおいしいと世界で  
認められています。以前のよ  
うに日本茶が世界に進出する  
時期が来たのではないでしょ  
うか。  
表題からははずれませんが、  
テレビで「龍馬伝」、「坂の上  
の雲」を見ていました。大浦  
慶が生きていた時代です。当  
時の人達の気骨が感じられま  
した。それに引き換え、現政  
府を考えると「何をやってい  
るのか」とため息が出てしま  
います。当時の人達の信念、  
毅然とした態度と現在の政治  
家を比較することは無意味か  
もしれません。物語の上の出  
来事と言ってしまうとそれま  
でですが、現在よりも物事に  
進んでぶつかっていく気風が  
あったように思えます。「龍馬  
伝」でも余喜美子扮する大浦  
慶は女手一人で大浦屋の経営  
を立て直し、明治維新で活躍  
した志士達を庇護してしまし  
た



# TPP問題を考える

日本ライフ株式会社



常務取締役 門馬義幸

TPPに賛成している人達は農業と漁業はGDPのわずか2%でしかないと言います。もっと大局的に経済のことを考えろと彼らは主張します。しかし、一番大切なことを忘れていたのではないのでしょうか。それは食料がなければ私達は生きていけないということです。飽食の日本では考えられないのですが、もうすでに食料危機は始まっており、世界で10億人近くの人が飢餓で苦しんでいるのです。それでいてこれ以上開墾できる農地は地球上にあまり残っていません。それどころか、世界中の多くの農地が疲弊して、農作物が以前のように収穫出来なくなってきたのです。

その一方で中国やインドでは爆発的な人口増加が続いています。さらに昨今の異常気象の影響で農作物が安定して収穫できなくなりました。韓国では昨年、異常気象のために、白菜の収穫量が少なくなり、一時1個当たり1万ウォンから1万5千ウォンの価格になりました。日本円でいえば、1個、1千円から1500円もしたのです。作物の収穫量が減った場合には農業大国でさえ、自国民を第一に考えるために、輸出を禁止します。昨年はロシアが小麦など穀物の輸出を禁止しました。異常気象が続く中、今後はさらに輸出禁止が増える可能性もあります。

このような状況を考えれば、

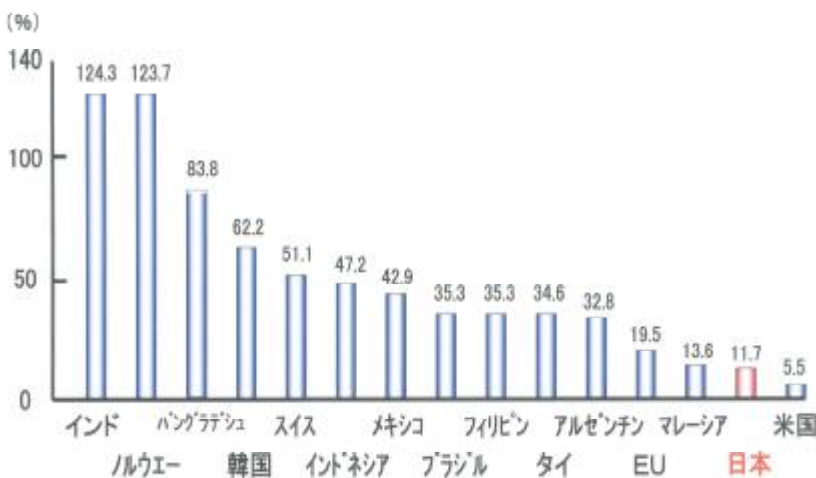
食料が確保できない時代が確実に近づいていることが理解できるのではないのでしょうか。お金があっても食料が買えない時代が来るのです。中国が日本を追い抜いて世界第2位の経済大国になりました。マグロなど海産物の買い付けでももうすでに外国に負けている現状をどのように政府は考えているのでしょうか。

日本は食料自給率が40%と低いだけではなく、家畜の飼料の自給率はさらに低く、ここ数年25%前後にすぎません。世界最大のトウモロコシ生産国であるアメリカではバイオエタノール用のトウモロコシの需要が増え、輸出量に影響を与えています。中国のように従来は飼料輸出国であった国が、現在は輸入国に変わりつつあり、丸紅経済研究所によれば、中国のトウモロコシ輸入量が2015年までに1000万トンにまで増える可能性を示唆しています。日本は世界最大のトウモロコシ輸入国であり、毎年1600万

トンから1700万トン輸入していますが、今後は発展著しい国々が競合国になるのは間違いありません。世界のトウモロコシの生産高が急が増えることは考えられません。マグロと同じように競り負けすることが現実味を帯びていきます。

数年前に石油が高騰しました。これは石油の産出量が減ったからではなく、投機の対象になったためです。最近では農産物が投機の対象になりはじめています。TPPに加盟すれば安い農産物が輸入されるというのは一時の幻想でしかありません。日本の農業が壊滅状態になれば、価格などいくらでも上げられません。

主要国の農産物平均関税率について



①出典: OECD「Post-Uruguay Round Tariff Regimes」(1999)  
 ②タリフライン毎の関税率を用いてUR実施期間終了時(2000年)の平均関税率(貿易量を加味していない単純平均)を算出  
 ③関税割当設定品目は除外税率を適用。この場合、従量税については、各国がWTOに報告している1996年における各品目の輸入価格を用いて、従量税に換算。  
 (注)1996年において輸入実績がない品目については、平均関税率の算出に含まれていない。

今の倍の価格になってもおかしくありません。実は日本の農産物は米やこんにやくなど一部の品目を除いての関税率は低く、平均関税率は12%と世界でも一番低いほうにランクされています。

日本の農業の現状を考えてみましょう。戦後60年以上に亘って、農薬と化学肥料の使用に過ぎにより自力で回復できなくなった農地が増えていきます。連作障害も増えてきました。水稲でさえ、連作障害が出てきました。用水のコンクリート化も一因だと言われていますが、1000年以上も連作障害がでなかった米にでさえ連作障害が出てきたのです。北海道でも大根ができなくなったとかトマトが小さくなったという話を耳にします。連作障害はある日、突然やってきます。ある日を境に野菜がほとんど取れなくなってしまうのです。こうなってしまうと農地を元の状態に戻すのに何年もかかります。さらに異常気象が追い打ちをかけてい

ます。昨年の野菜の高騰を思いだしてください。春と秋に収穫量が少なく、野菜が一时的に高騰しました。しかし年間で見れば、農産物の安値安定が確定し、土づくりにかかせない土壌改良資材にまで資金を回せない農家も増えてきました。農家の高齢化も1年ごとに確実に進んでいます。こうなると悪循環です。ますます農地は疲弊していきます。野菜の質の向上も風前の灯です。野菜泥棒の増加も考えられます。平成5年の冷夏の際には、全国で米が盗まれました。最近ではタケノコやさくらんぼの盗難が紙面をにぎわしています。広大な農地では野菜泥棒を取り締まることは容易なことではありません。

TPPのことを持ち出すならば、どのように食料を確保していくのか、きちんと国民に説明する必要があるでしょう。今までも農産物の市場開放に向けて、政府は約40兆円と言う莫大な対策費を使って

## 会員の声

小山末幸さん（東京都狛江市）は今回も自慢の菊で菊花会会長賞、観光協会賞を受賞されました。

小山さんはアーゼロンゆきをを使い、丹精込めて見事な菊を育てています。毎年、狛江市菊花展示会に出品され、数々の賞を受賞されています。今回は狛江市菊花会による第50回目の展示会（平成22年11月7日〜19日）でした。

狛江市役所入口の第一会場では観光協会賞受賞の大菊が隣接の狛江市民センターの第二会場では菊花会会長賞受賞の小菊盆栽が展示されていました。



ご自慢の菊に囲まれた小山さん

小山さんに今回のアーゼロンゆきの使い方をお聞きしました。

元肥にアーゼロンゆきを用い、4月から7月までは追肥として使いました。その後は液肥を使用しましたが、8月からは窒素があまり効かないように注意し、花が咲きはじめたら、肥料は与えず、10月、11月は水だけ与えました。翌春の新芽が元氣よく育つように、花が咲き終わる11月末頃にもアーゼロンゆきを施肥します。

品評会に合わせるように咲

かせるのはむずかしく、特にこの夏の猛暑には気を使われたとのことでした。

## 今年も

### 見事に咲きました

昨年のユツカランがあまりに立派でしたので、今年は期待していませんでした。しかしながら二茎も伸びてきて、楽しみにしていましたが、写真のようになりました。これは3週間ほど前のもので、大きい方はずいぶん枯れていてもまだあります。小さい方はまだまだ成熟しないようです。



本当に見事なユツカラン

二本一緒に咲いてツーショット

トにしたかったのですが、うまくいかないものですね。

しかしながら、三年連続で花を付けたというのはとても喜ばしいことで、肥料の威力を感じています。来年も期待しています。

(横浜市 木場田さん)

一昨年からアーゼロン・Cを施肥され、10年ぶりにユツカランが蘇り、1年よりも2年目のほうが見事に咲きましたと、春にも写真をお送りいただきました。

## 最高の白菜が

### 出来ました

今年は土づくりの力を入れました。充分な堆肥にアーゼロン・Cと米ぬかと化成肥料を少し入れたところ、大きさ・味ともに店で売られているよりもはるかに立派な白菜に育ちました。

(狛江市 峯岸さん)

## 2010年のあゆみ

1月5日	肥料農産新報1月5日号に日本ライフ(株)門馬義幸常務が「日本食の素晴らしさ」と題して論考が掲載されました。 『ミッシュランガイド』を例に挙げ、海外に誇る日本食の素晴らしさを取り上げています。また、子供の時にこそ本物の味を覚えるべきであり、それには炊きたての新米を食べさせ、農作物の本来持っているおいしさを味わわなければならないと説いています。栄養価が高く、おいしい農作物を育てるためにも土作りこそが大切であることを説明し、さらに子供達が日本の伝統食に触れ、お雑煮など家庭の味を知ること大切であると続けています。
4月29日	「ホームセンタースズキ(川崎市)」にてアーゼロン・Cの使い方を説明、店頭販売を行いました。
7月・8月	世論時報8・9月号の2回にわたり、特集記事として「農業のこれからを築く」と題して夢を持って農業に挑戦している飯塚さん(千葉県:有限会社多古農産代表取締役)が紹介されました。
8月	肥料農産新報8月5日15日合併号に日本ライフ(株)門馬義幸常務の「新規就農者への期待」と題して論考が掲載されました。現在の農家の現状を述べ、新規就農者への期待を取り上げています。 新規就農者には3つのパターン(1. 農家出身者が農家以外の職業についてから農業をする「Uターン」就農者、2. 農家出身者が高校や大学を卒業してすぐに就職する新規学卒就農者、3. 農家以外の「異業種出身」の新規参入者)があり、その中で「異業種出身」の離農率が高いことに触れています。農業は大変な仕事ですが、経験を積み積むほどその経験が生きてくるものであり、日本の未来は農業の再生にかかっていると結んでいます。

■フォーラム「市街地での生ごみ資源化の可能性を探る」■  
コーディネーター：萩本 健 氏 日本土壤協会・会長

■フォーラム 第1部 《事例発表》

事例発表① 韓国の変廃物事情 7  
公益財団法人地方自治総合研究所特別研究員 鄭 賢光 氏

事例発表② 乾燥生ごみの活用とその肥料効果 21  
東京農業大学土壌環境化学研究室 藤原 俊六 氏

事例発表③ 生ごみ処理機・コンクリートシステムによる食品廃棄物処理の効率化 43  
株式会社エス・エス・エス 藤原 俊六 氏

事例発表④ 亜塩素酸水反応を使った生ごみ堆肥の生産 51  
明治大学客員教授 藤原 俊六 氏

■フォーラム 第2部 《全体討議》

議題提供① 日本のごみ処理の動向 67  
環境省廃棄物・リサイクル対策部 廃棄物対策課 工藤 嘉史 氏

議題提供② ゼロ・ウェイストへの挑戦—3万人の町の協働と意識改革— 79  
神奈川県横浜市環境課 藤原 俊六 氏

議題提供③ 生ごみ資源化のスタートは家庭でのより良い保管から 89  
元東京農業大学客員教授 藤原 俊六 氏

■全体討議  
事例発表、議題提供で出てきた多くの疑問や様々なヒントを組み合わせて  
人口密集地における家庭生ごみ資源化の可能性をみんなで考えましょう

NPO 法人 生ごみリサイクル全国ネットワーク主催  
**2010 生ごみリサイクル  
フォーラム開催**

NPO 法人 生ごみリサイ  
クル全国ネットワー  
ク主催の  
「2010 生ごみリサイ  
クルフォーラム」が  
開かれました

日時 **11月25日(木)**  
会場 **JICA地球広場 講  
堂・セミナールーム**  
後援 **農林水産省 環境省  
特別区長会 東京都市長会  
(独)環境再生保全機構 地球  
環境基金 (独)(独)国民生  
活センター 全国清掃事業連  
合会 (株)日報アイ・ビー**

協力 **東京農業大学応用生物  
科学部・国際食料情報学部**

伊達昇先生の主催者あいさ  
つ後、松本聰先生(日本土壤  
協会会長)がコーディネータ  
ーを務め、フォーラム「市街  
地での生ごみ資源化の可能  
性を探る」が始まりました。多  
彩な講師による事例発表が行  
われ、活発な質疑応答が続き  
ました。講師の先生方の発表  
はいずれも興味深いものでし  
たが、特に印象に残りました  
お二人の先生の発表に感想を  
述べさせていただきます。

鄭智允先生は韓国で進む家  
庭生ごみ資源化の状況を発表  
されました。ソウルでは生ご  
みを **100%**資源化し、飼料、  
堆肥にしています。**2005**年  
に生ごみの直接埋立が禁止され  
たこともありましたが、生ごみ  
の資源化の普及率は日本も見  
習うべきだと思えます。

藤原俊六先生は亜塩素酸  
水反応を使った生ごみ堆肥の生  
産方法について発表されました。  
有機廃棄物投入後、亜臨

界領域(200~300℃)で無菌  
状態の堆肥用物質が生産され  
ます。要する時間は約**1時間  
30分**です。これからの堆肥生  
産におけるひとつの指標にな  
るのではないのでしょうか。

17:35 ~ 17:35 質疑応答 (会場はセミナー・ホール202)

「みんなで取り組む家庭の生ごみリサイクルは成功を収めること！乾燥させること！」

事例発表① 乾燥生ごみ/NPO法人生ごみリサイクル全国ネットワーク  
▲生ごみをよく乾燥させるのは乾燥機が重要  
▲生ごみを乾燥させるには、乾燥機が重要  
▲生ごみを乾燥させるには、乾燥機が重要  
▲生ごみを乾燥させるには、乾燥機が重要

事例発表② 第一電子/西沢清氏  
▲生ごみカセットで乾燥し堆肥原料の確保に注目  
▲生ごみカセットで乾燥し堆肥原料の確保に注目  
▲生ごみカセットで乾燥し堆肥原料の確保に注目

事例発表③ 株式会社エス・エス・エス  
▲生ごみ処理機・コンクリートシステムによる食品廃棄物処理の効率化  
▲生ごみ処理機・コンクリートシステムによる食品廃棄物処理の効率化  
▲生ごみ処理機・コンクリートシステムによる食品廃棄物処理の効率化

事例発表④ 西原洋子/FFC研究会  
▲生ごみカセットで乾燥し堆肥原料の確保に注目  
▲生ごみカセットで乾燥し堆肥原料の確保に注目  
▲生ごみカセットで乾燥し堆肥原料の確保に注目

事例発表⑤ 中津野子/埼玉エコリサイクル推進財団  
▲生ごみカセットで乾燥し堆肥原料の確保に注目  
▲生ごみカセットで乾燥し堆肥原料の確保に注目  
▲生ごみカセットで乾燥し堆肥原料の確保に注目

17:35 終了

**お知らせ**

**残留農薬試験新しくなりました**

2011年よりポジティブリスト性対応の  
残留農薬一斉分析が**50項目**と**120項目**の  
**2種類**となりました。

価格 **50項目 19,000円(税別)**

**120項目 28,000円(税別)**

よろしく願いいたします。

**編集後記**

今年の干支はうさぎです。  
この時期、街を歩けばうさぎ  
を形取ったスイーツから小物  
まで様々なうさぎグッズが目  
に入ります。私の干支は馬で  
すが、うさぎが大好きなので、  
思わず手に取ってしまいたく  
なります。うさぎにあやかっ  
てポップ、ステップ、ジャン  
プと飛躍の年になることを祈  
っています。

(Y. M.)

昨年のヒット商品は、全体  
として小粒で「横綱不在」と  
いわれました。

今年、高い評価を得てい  
る新品种「つや姫」、米からパ  
ンが作れるホームベーカリー  
などがヒットするのではない  
かと予想されています。国内  
農業への関心が高まり、農業  
関連のヒット商品が生まれる  
事を期待します。

(K・I)

